

評価結果に基づきレーティングを実施しています。

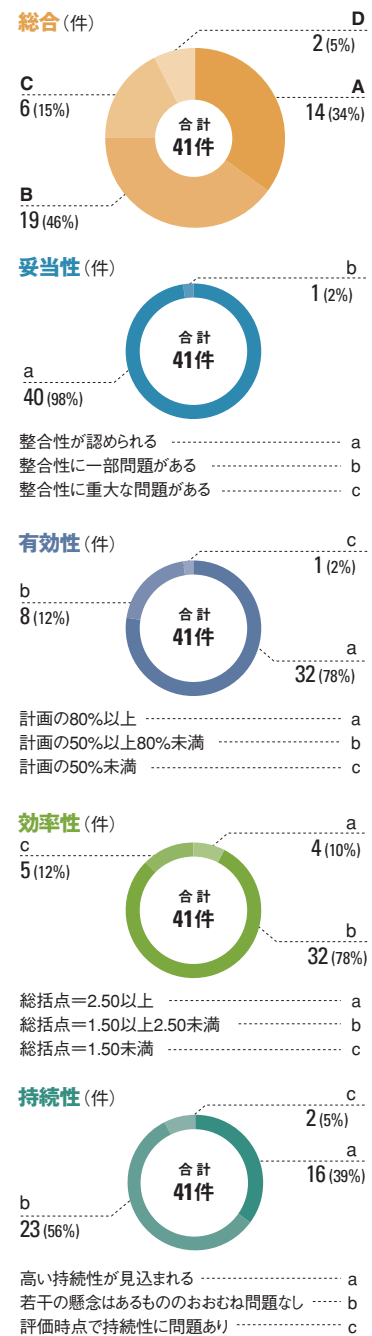
当行では2004年度公表の個別評価より、「A(非常に満足)、B(満足)、C(おおむね満足)、D(不満足)」の4段階でレーティングを行っています。レーティングではまず、事業の①妥当性、②有効性(インパクト)、③効率性、④持続性について個別に評価し、この結果をもとにレーティング・フローチャート(次ページ参照)に従い、総合評価を行っています。レーティングは、評価結果を分かりやすく表すだけでなく、

結果に至る過程も含め、開発事業の定量的評価や評価結果に基づく改善に向けて関係者が共有し活用できる手段の一つです。しかし、レーティングは事業のすべてを包括的に反映している訳ではないので、その結果のみが過度に強調されることは好ましくないと考えています。05年度公表の対象事業41件では、Aが14件(34%)、Bが19件(46%)、Cが6件(15%)、Dが2件(5%)となりました。

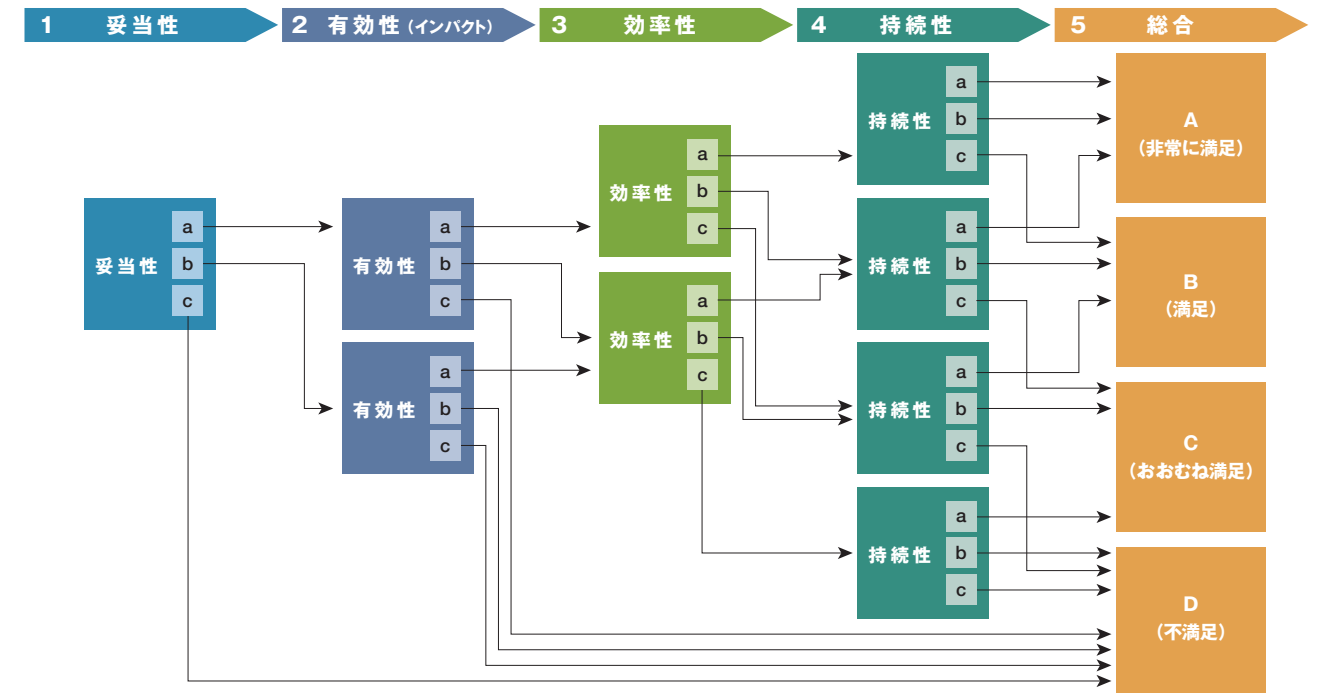
レーティング結果

No.	国名	事業名	妥当性	有効性	効率性	持続性	総合
1	タイ	PEA送電網拡充事業(1-1)(4)(5)	a	a	b	a	A
2	タイ	バンコク上水道整備事業(4-2)(5) バンコク上水道配水網改善事業	a	a	b	a	A
3	タイ	地方幹線道路網改良事業(1)(2)	a	a	b	a	A
4	インドネシア	ジャカルタ漁港/魚市場整備事業(4)	a	a	b	b	B
5	インドネシア	ウォルジョ多目的ダム建設事業(1)(2)	a	b	b	a	B
6	インドネシア	メラク・バカウニ・フェリーターミナル拡張事業(2)	a	a	b	b	B
7	インドネシア	航空保安設備整備事業	a	a	b	a	A
8	インドネシア	ウジュンバンダン上水道整備事業	a	a	b	b	B
9	インドネシア	ボゴール農業大学整備拡充事業(2)	a	a	b	a	A
10	インドネシア	バンドン工科大学整備事業(2)	a	a	a	b	A
11	インドネシア	園芸作物開発事業	a	a	b	b	B
12	インドネシア	セクタープログラムローン	a	a	b	b	B
13	マレーシア	高等教育基金借款(HELP)	a	a	a	b	A
14	フィリピン	パンパガデルタ洪水制御事業(1)	a	b	c	b	D
15	フィリピン	幹線道路網整備事業(1)(2)	a	a	b	b	B
16	フィリピン	LRT1号線増強事業	a	b	b	b	C
17	フィリピン	産業公害防止支援政策金融事業	a	a	a	b	A
18	フィリピン	スービック自由港環境整備事業	a	b	b	a	B
19	フィリピン	メロマニラ大気改善セクター開発計画	a	a	b	b	B
20	中国	神木-朔県鉄道建設事業(1)~(4)	a	a	b	a	A
21	中国	天生橋第一水力発電事業(1)~(4)	a	a	b	a	A
22	中国	西安市上水道整備事業(1)(2)	a	b	c	a	C
23	中国	天津市第3ガス整備事業	a	a	c	a	B
24	中国	上海宝山インフラ整備事業(1)(2)	a	a	b	a	A
25	中国	西安-安康鉄道建設事業(1)~(3)	a	a	b	b	B
26	中国	貴陽-婁底鉄道建設事業(1)(2)	a	a	b	b	B
27	中国	蘭州中川空港拡張事業	a	b	b	b	C
28	中国	内陸部電話網拡充事業	a	a	b	b	B
29	パキスタン	機関車工場建設事業	b	c	b	c	D
30	パキスタン	機関車リハビリ事業(1) 機関車製造事業(2)	a	a	c	b	C
31	パキスタン	インダス・ハイウェイ建設事業(1)(2)(2B)	a	a	c	a	B
32	インド	アンバラB火力発電所建設事業(1)~(5)	a	a	b	a	A
33	インド	ヤムナ川流域諸都市下水道等整備事業	a	a	b	b	B
34	インド	国道24号線拡幅・改良事業	a	b	b	a	B
35	インド	ラジャスタン州植林開発事業	a	a	b	b	B
36	インド	環境保全推進事業 (公害対策設備投資部分)(組織強化・技術協力部分)	a	a	b	b	B
37	シリア	アル・ザラ火力発電所建設事業	a	a	b	a	A
38	コロンビア	アグアブランカ上下水道整備事業	a	b	b	b	C
39	チェコ	南部地域上下水道整備事業	a	a	b	b	B
40	ジンバブエ	マタレランド州通信網拡充事業	a	a	b	c	C
(注)	フィリピン	農村・農地改革支援政策金融事業	a	a	a	b	A

(注) 事業の内容等については、テーマ別評価 フィリピン「農地改革への金融支援」P.75を参照ください。



レーティング・フローチャート



レーティングの方法

項目	ポイント	基準	備考
1 妥当性	事業目的と、事前評価時および事後評価時の開発ニーズおよび開発政策との整合性を確認する。	整合性が認められる	a
		整合性に一部問題がある	b
		整合性に重大な問題がある	c
2 有効性 (インパクト)	効果について計画と実績で比較する。	計画の80%以上	a
		計画の50%以上80%未満	b
		計画の50%未満	c
3 効率性	アウトプット、期間、事業費の3つの項目について計画と実績で比較する。そのうえで、3つの項目を総合して事業の効率性を分析する。	1.アウトプット	
		計画の80%以上	a 3点
		計画の50%以上80%未満	b 2点
		計画の50%未満	c 1点
		2.期間	
		計画の100%以下	a 1点
		計画の100%超150%以下	b 2点
		計画の150%超	c 3点
		3.事業費(外貨換算の総事業費)	
		計画の100%以下	a 1点
計画の100%超150%以下	b 2点		
計画の150%超	c 3点		
4 持続性	財務面を基本に技術および体制面や設備の状況等を勘案する。	高い持続性が見込まれる	a
		若干の懸念はあるもののおおむね問題なし	b
		評価時点で持続性に問題あり	c
		総合的な判定を行う。	
5 総合	総合的な判定を行う。	上記フローチャート参照	

*たとえば、用地取得の計画が不十分であった場合は、事業が遅延し効率性(期間)の評価に反映される。

レーティングの改善点

当行は、2004年度公表よりレーティングを導入しましたが、以下の点について、レーティング方法を変更しています。

「妥当性」について

開発ニーズおよび開発政策との整合性の基準を、2つから3つに変更しました。

2004年度	今年度
整合性が認められる ○	整合性が認められる a
整合性に一部問題がある ×	整合性に一部問題がある b
整合性が認められない ×	整合性に重大な問題がある c

「効率性」について

期間、事業費についての基準値を変更しました。

2004年度	今年度
計画の125%以下	計画の100%以下 a
計画の125%超200%以下	計画の100%超150%以下 b
計画の200%超	計画の150%超 c